

2月24日(水)

“平和なまち” 絵画コンテストで市内中学生が 優秀賞を受賞!

秋田市が加盟する平和首長会議(会長:松井一寛広島市長)が実施した「子どもたちによる“平和なまち” 絵画コンテスト2020」で、桜中学校2年の南園朝子さんの作品が11歳～15歳の部で見事優秀賞に選ばれました。このコンテストは、加盟都市における平和教育の更なる充実を図ることを目的に平成30年度に始まりました。3回目となる今年度は19か国99都市に3,122点に上る作品が寄せられました。(6歳～10歳の部2,161作品、11歳～15歳の部961作品)

2月24日には秋田市役所で表彰状の伝達式が行われ、穂積志市長から南園さんに表彰状と記念品が手渡されました。

この入賞作品は、秋田市が令和3年3月に策定した「秋田市国際交流マスタープラン2021」の表紙に使用されています。



「この作品に込めた思い(南園朝子さん)」

私はこの作品を作るにあたって、まず、平和とは何だろうと考えました。世界中には何十億人もの方がいるので、それぞれの平和に対する考え方は違うと思います。しかし、平和は一人で作ることのできるものではありません。

だから、私にとって平和というのは、個人を尊重し、お互いを支え合う社会のことなのだと思います。私は、そのことを子ども達がそれぞれ笑い合い、手を取り合っている絵で表しました。このコンクールでは、平和に対する考えを深めることができたと思います。

令和3年度 秋田市の主な国際交流・平和関連事業(予定)

※スケジュールははじめ記載内容は現時点の予定であり、事業実施は、秋田市議会による令和3年度予算議決後に正式決定します。また、感染症等の状況によって変更の可能性もあります。

時期	事業名等	概要
7月10・11日	ナガサキ・土崎被爆証言講話会	長崎から被爆体験者を、また、土崎から空襲体験者を招いて、自らの体験を語っていただく講話会を開催。(入場無料)
8月中旬～10月中旬	中国・蘭州市研修員受入	中国・蘭州市研修員受入蘭州市から研修員4名を2か月間受け入れる。
10月3日	あきた国際フェスティバル2021	公益財団法人秋田県国際交流協会との共催により、外国人住民が自国を紹介するブース、ステージイベント等を通して、外国人住民と市民が直接交流するイベントを開催。(入場無料)
11月上旬	中国・南寧市との友好都市締結記念事業	中国・南寧市と友好都市を締結するため本市代表団を派遣するほか、南寧市において記念事業を実施する。
通年	秋田市日本語教室	外国人住民対象の日本語教室を開催。(無料) 前期はオンラインで開催します。詳しくは、ホームページをご覧ください。

日本語教室リンクはこちら▶



ウキパラ
バックナンバー
はこちら▶



お問い合わせ

秋田市 企画調整課 国際・都市間交流担当 TEL 018-888-5464 / FAX 018-888-5463

E-mail : ro-plmn@city.akita.lg.jp

https://www.city.akita.lg.jp/shisei/kokusaikoryu/index.html

令和3年3月

「秋田市国際交流マスタープラン2021 ～このまちで育む世界との絆～」 を策定しました!



令和3年3月に、第14次秋田市総合計画(計画期間:令和3年度～令和7年度)に基づく、本市の国際・平和関連施策の方針を示すための部門別計画として「秋田市国際交流マスタープラン2021」を策定しました。

前プラン(計画期間:平成28年度～令和2年度)の改訂版となる本プランでは、感染症拡大による影響と対応について新たな章を追加したほか、外国人住民の増加傾向に伴い、多文化共生施策についてさらに充実させた内容となっています。

なお、本プラン策定にあたっては、外国人住民アンケート、町内会アンケート、有識者会議等でのいただいたご意見を反映させていただきましました。ご協力いただいたみなさまありがとうございました。

本プランの基本理念については、2ページ以降に掲載しておりますが、本編、資料編のすべての内容は、本市ホームページで公開しておりますので、ぜひともご覧ください。

「秋田市国際交流マスタープラン2021」の内容

第1章 プラン策定の趣旨
第2章 「国際交流マスタープラン2016」を振り返って
第3章 国際交流の現状と課題
第4章 感染症拡大による影響と今後の対応
第5章 基本理念と主要施策

秋田市国際交流
マスタープラン
掲載ページ▶



「秋田市国際交流マスタープラン2021」の基本理念はこの4つ!

基本理念1

世界に広がる パートナーシップの推進

グローバル化に対応した活力ある地域社会となるよう、友好・姉妹都市等をはじめとする諸外国との交流を推進するとともに、交流成果を市民に還元することにより、国際的な視野や平和意識を持った人材の育成と世界に広がるパートナーシップの構築を目指します。



秋田市友好・姉妹都市等
青少年会議



青少年バレエ合同公演の会場の様子



秋田市国際フェスタ



日本語教室(オンライン)の様子

※コロナ禍への対応のため
日本語教室はオンラインに

基本理念2

地域に根ざした 多文化共生の推進

多様な背景を持つ住民が、相互理解を深めながら、それぞれの良さや特長をいかし、地域の一員として活躍できる多文化共生の地域社会となるよう、外国人住民も暮らしやすいまちづくりを進めるとともに、多文化共生に関する市民意識の醸成を図ります。

基本理念3

市民との連携による 国際交流の推進

幅広い市民が国際交流や異文化理解の機会に触れられるよう、多様な分野の活動を行う市民団体と連携するほか、青少年を中心とした次世代の交流の担い手育成や市民が参加しやすい環境づくりを進めます。



ウラジオストクでの青少年バレエ交流



2019.8.1~8.2
蘭州市-秋田市 サッカー交流会

基本理念4

国際的な経済交流の推進

アジア地域をはじめ、更なる海外との交流による地域経済の活性化を図るため、市内企業への海外販路拡大に対する支援の充実や外国人観光客の誘客促進、受入体制の整備などにより、国際的な経済交流を進めます。



南寧市での中国ASEAN博覧会

トピックス1

本市の外国人住民数の推移 (国籍別)

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により微減となっているものの、毎年増加傾向が続いていました。

国籍	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	R2 (2020)
中国	275	262	266	301	281
韓国	231	221	219	213	203
フィリピン	181	186	181	190	205
米国	103	168	155	147	86
ベトナム	34	38	43	78	128
インドネシア	32	31	42	48	67
マレーシア	47	46	47	43	26
ネパール	33	36	38	27	39
タイ	28	26	60	30	29
モンゴル	39	36	31	26	28
その他	338	311	343	362	251
計	1,341	1,361	1,425	1,465	1,343

(各年9月1日時点)

本プランの特徴

このまちで育む世界との絆

本プランでは、外国人住民の増加を受け、相談体制の充実や、やさしい日本語や多言語での情報提供、災害・緊急時の外国人対応の整備、地域における多文化共生意識の意識啓発など、多文化共生施策をより充実させる内容としました。

こうした特徴を分かりやすくお伝えするため、本プランの副題を「このまちで育む世界との絆」としました。



▲市政テレビ番組で119番通報の多言語三者通話サービスを紹介

トピックス2

外国人アンケート

本プラン策定にあたって実施した外国人住民アンケートの一部をご紹介します。

Q 日本語を読むことができるか

簡単な日本語なら読むことができる外国人住民が9割以上との結果から、「やさしい日本語」での情報提供が有効であることが分かりました。

